

日の丸が象徴する言霊の国

古来、日本は日ノ本の国、日出ずる国、惟神(かんながら)の国、言霊の幸はう国、神国と称されてきました。そして国号を日本と称し、霊的太陽を旗印にした日の丸を国旗としています。国歌の「君が代」の歌も古代から歌い継がれており、自然発生的に生まれているのです。

国名・国旗・国歌というものは偶然に定まるものではありません。天の意思が自然と浮かび上がって定まっている・・・と考えられます。

「霊(ひ)ノ本ノ国」の「霊」とは「体(物)」に対比する見えない波動やエネルギーの世界を意味しています。

宇宙の実相は波動があって物が生じる

現代の科学でも認知しているように、この宇宙一切のものは波動＝エネルギーによって成り立っています。このことをアインシュタインの相対性理論では「 $E=MC^2$ 乗」と表現しているのです。波動が有って物が生まれる、これが宇宙の真理であったのです。

したがって「霊ノ本ノ国」とは霊性＝精神性の豊かな国と解せます。「霊」(霊的エネルギー)が因(もと)にあつて、その反映として「体」(形・物質)が顕われてくるのが宇宙の仕組みです。世界で霊ノ本の国などと称している国は日本以外にはありません。ですから、日本の国は世界の元の親国の意味も秘められているのです。

それ故に霊的太陽を象徴する「日の丸」を国旗にしており、昔から「霊ノ本ノ国」「神国」とか「惟神(かむながら)の国」とか「言霊の国」と称してきた所以があるのです。

取り越し苦労、過ぎ越し苦労に陥っている人々

「言霊」とは言葉の力によって幸をもたらす意味に繋がっているのです。言葉のエネルギーによって私たちは幸福と発展の道を掴むことができるようになるのです。

ところが、人々はこの言葉の大切さに気付かず迷走しています。その現われが混乱する現代の世相に反映されているのです。

多くの人たちは過去に囚われて生きています。また、先のことを必要以上に心配して生きてる人も数多く居ります。実は過去はプラスに解釈すると全て学びであり、私たちが霊的に成長するために避けて通れなかった道だったのです。そして未来に対する心配や不安も過去の情報や経験によってもたらされているのです。

昔、支那の杞という国で「天地が崩れ落ちる・・・」と心配して苦悩した人が居たという、その杞人の憂いという意味で「杞憂」という熟語が生まれたとのこと。この「杞憂」という熟語のように、多くの人は取り越し苦労、過ぎ越し苦労して必要以上にネガティブな思考に囚われているようです。これでは幸福も明るい未来も開けなくなってしまいます。

思考は言葉によって創られているのです

私たちは起きている間中、片時も休みなく思ったり考えたりして生活しています。この思考作用は何をもって行なっているのでしょうか。その大元は言葉によって生じています。言葉が無ければ人間は思考作用が出来なくなるのです。そては動物を見れば明らかです。彼らは本能のままに生きています。

私たち人間は、日本人なら日本語で、アメリカ人なら英語で、中国人なら中国語で、国や民族によってそれぞれに言語は違っても、脳裏に無意識的にコトバが沸き起こり思考や想念を作り出しているのです。

霊ノ本の国・言霊の国・日本

敷島の日本やまとの国は

言霊の幸はふ国ぞ。

福まきくありとぞ

柿本人麻呂

神代より言い伝え来けらく

そらみつ 大和の国は

皇神すめかみの 厳しき国

言霊の 幸はふ国と

語り継ぎ 言い継がひけり

山上憶良

この脳裏に働く「内なるコトバ世界」、それが「自分という心」なのです。言葉は波動です、エネルギーです。ですから心も波動でありエネルギーと言えます。

言葉の真髄を学べば幸福と繁栄の道が・・・

この大切なコトバのエネルギー、心のエネルギーとは何かを分かり易く伝え、これからの時代の道標として「言霊の幸はう国」と言われてきた日本に生まれた言霊学が「光透波理論(命波学)」なのです。

命波を学ぶことにより宇宙、人間、命の世界がより奥深く分かってきます。何で生まれて来たのか？・・・生きるとは何か？・・・本当の幸せとは何か？また、自分の成長を認めることが出来る自己完成への道、魂磨きへの道が、コトバ(光透波)の学びによって開かれて行くことになるのです。

言葉の奥に潜む真理＝「光の言葉」こそ「光のエネルギー」であり、その言葉を積極的に活用することにより、幸福と繁栄の道が開かれるのです。

そして命波(光透波)の学びは21世紀を迎え、人々が霊性開花する時代の生き方を掴むことができる哲理なのです。幸福と繁栄の道を是非、共に学ばれますようご案内いたします。 文責 宿谷

命波の會図

連載 — 14

【第145号から続く】 「命波の會図」の連載をお休みさせて頂いたこの3ヶ月間、公私共に貴重な休養の時間を過ごすことが出来ました。心機一転3ヶ月前からの続きを綴らせて頂きます。

命波学講座を兄から引き継いで励む

兄との突然の別れから、私は慌ただしく命波学講座を継ぐこととなりました。それは兼ねてから予定されていた命波学の中級講座から始まりました。お二人の方に学びをお伝えする機会を与えられました。

私にとって兄と別れてからの4年間は怒涛のように過ぎてゆきました。そして今年で5年目に入っているのですが、この間、個の考えより目の前の与えられたことを必死に取り組みました。そのお陰で私は衛られ学びを重ねることが出来ました。

兄が逝去した後の翌年の2020年の1、2月頃から、にわかコロナウイルスが感染蔓延し全世界的に猛威を振るうようになりました。そして約3年経ちました今年減少しつつあるようですが、多くの方々の意識感覚は恐怖心を取り除けないようです。また気象の変化は激しく地球が沸騰化している？とも言われている昨今です。

兄の一周忌、追悼記念講演会を開くことに

このような中、命波学を学ぶ私たちは、2020年の7月23日(祝)に名古屋市千種区の吹上ホール第三会議室にて講演会を開催するように誘導されてゆきました。

その切っ掛けは兄の一周忌をどうしようかと命波同志で考えていた時に、タイミング良く命波学を学ぶ宿谷直晃氏が「コロナ、大いなる宇宙の意図」の新著を出版された事でした。出版記念講演を打ち出して、そこに兄の追悼講演を加えることとなり、実光透波会主宰で開催することとなりました。



岡田友佳子さん作成のパンフ

「命波学教本」堀尾泉實著 命波学＝光透波理論習得の必読のテキストです。定価2500円

ご希望の方は、実光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾 君子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp 090-8499-5989まで

本決まりになったのが6月の中旬、兄の一周忌まで1ヵ月という短い期間で命波同志の中心メンバー8人が一丸となって、忙しい中話し合いを重ねながら手早くプログラムの骨子をつくり、パンフレットを作成していったのです。

それぞれのお役目の出番の練習を重ねて、必要な印刷物をPCで作成し、もろもろの備品を手分けして見事としか言いようのない出来栄で、7月23日の兄の追悼講演会を迎えることが出来たのです。貴重な体験を頂戴致し、またこの間、皆様には大変なご負担をお掛けしました。

改めてこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。今が有るのも命波を学ぶ皆様のお陰です。

命波の同志が結束し見事な講演場が整う

当日、会場の準備・運営を命波同志スタッフ全員15名が一致団結して携わり、それぞれの持場のお役目を見事に果たしながら、参加されるお客様を誘導しました。

コロナの感染防止のため、吹上ホール第三会議室は定員140名なのですが、半数の70名に制限されていました。いざ、ふたを開けてみますと丁度定員の70名の聴講のお客様とスタッフでした。

受付から全体の管理を把握する各々が頑張りました。講演会場には立派な花盛や、講演テーマを紹介する墨痕鮮やかな3枚の大きな掲示が彩を増しておりました。正面壇上の左脇に兄の遺影を据えました。皆様のお陰で立派な講演会場となりました。

第一部、宿谷氏の講演「コロナの〈壊すは光和す〉」に

午後12時半、満席の中、岡田友佳子氏の見事な司会により会は始まりました。岡田さんは兄の愛弟子で命波学の研鑽と発展に尽力され協力されている方です。

第一部の宿谷直晃氏は小田野早秧先生の愛弟子の磯部賢一氏から光透波を学ばれ、独自の努力と研鑽も積まれて今日では光透波の普及に努められています。新刊の「コロナ、大いなる宇宙の意図」の著書の中でも光透波を紹介されています。

宿谷氏はパワーポイントを操作されながら光透波の字割を展開され「壊す」は「光和す」。壊すとは遠心力により光に和すことになる。これぞ日月神示の言われている一厘の仕組みでもあると訴えられ、滑らかに光透波をも紹介し講演されていました。質疑応答もあり大いに盛り上がりました。

第二部、4人の兄の門下生が命波学の素晴らしさをアピール

第二部は兄の直弟子の門下生によるパネルディスカッション形式で、4名の方が発表されました。

【山本敏朗氏】

幼い頃から大空の星々から宇宙への興味を持っていました。そのような中、命波学は宇宙の究極の学びですとお聞きし、命波学にご縁を得ました。そして、宿谷先生の本を読み職場での心の傷も癒すのも言葉であると知る。その言葉を大切に日々精進して言葉の神髄を学んでいますと発表されました。

【鉾館俊之氏】

仕事のハードなプレッシャーが重なり潰瘍性大腸炎を病んだ。が日月神示などの本に縁を得て考え方を改めてゆくと、この難病を克服することが出来た。鉾館氏はプロジェクターを使って説明し、現在では命波学にご縁を得て学びを深め、一層霊性と和した健康の道を歩んでいますと発表されました。

【大淵雅子氏】

堀尾泉實先生から教わった『『あいうえお』は「I LOVE YOU (私はあなたを愛しています)」に繋がることをパワーポイントを使って次頁の図解のようにビジュアルに分かり易く字割解説をされる。

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。



そして世界の言葉の中で唯一の母音中心言語である日本語が、調和と愛に満ちた素晴らしい波動を秘めた言語であることを強調される。

【森 裕子氏】

主婦として二人の息子を育てながら仕事もバリバリはげみ、外の世界で頑張ってきた。が、内なる心の存在はどうなっているのかを知りたくなり、そんな中で命波学に縁を得て言葉によって心ができていると学び、光透波は抽象の言波であると気づき、そこを最と知りたいたと学びを深めています。と発表されました。

次に第三部の兄の追悼講演として「ことばでいきている」を題して堀尾君子がお話しさせて頂いたのですが、少々長くなりますので来年度にまた続きを綴らせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

つづく 堀尾君子

12月 光透波セミナーのご案内

- 日 時 12月11日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第8回
- 日 時 12月25日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第10回
- 日 時 12月26日(火) AM10:00~PM1:00 基礎講座 第6回
- 日 時 12月27日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第10回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●第5回 加古川 宇宙言霊講演会

- 日 時 12月16日(土) PM 1:30~PM 3:30
- 場 所 加古川 寺家町 B プラス (会場の電話番号079-426-1442)
- 演 題 「日本、日本語の本質について」 ●参加費 1500円、前売り1000円
- 講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

※12月は、磯部賢一氏の「光透波塾」、宿谷直晃氏の「光の言波、真理教室」休講させていただきます。

- | | | | | |
|-------------|-------------|----------------------|------|---------------|
| 光
透
波 | ・ 實光透波研究会 | 名古屋市名東区香南1-103-8-201 | 堀尾君子 | 090-8499-5989 |
| | ・ 光透波塾 | 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 | 磯部賢一 | 090-9199-0248 |
| | ・ 光の言波、真理教室 | 東京都品川区小山6-19-5 | 宿谷直晃 | 090-2447-2037 |
| | ・ 光透波言霊セミナー | 兵庫県播磨町西野添2-5-12 | 林和也 | 090-8580-3776 |

光透波のホームページ

<http://kotohawanokai.web.fc2.com>